



あけましておめでとうございます。昨年はイギリスのEU離脱決定、アメリカのトランプ氏大統領選勝利など世界の今後を左右するかもしれない大きな出来事がありました。日本ではリオ五輪での日本人選手の大活躍があり、また小池都知事誕生など3年後の東京オリンピックに向け徐々に雰囲気は盛り上がってきています。南大和グループはこれまでと同様、周辺地域の方々への貢献を最優先とした医療“を実践すべくいろいろなことに取り組んでいます。

具体的には総合腎臓病センターの拡充、眼科・耳鼻咽喉科の1号館移転、新外来リハビリ棟（3号館）稼働、総合在宅ケアセンター設立などに取り組ましました。

まず総合腎臓病センターの拡充は昨年6月より岩崎医師をセンター長として任命し、慢性腎臓病から維持透析治療までさらに充実し



トピック ニュース

- 総合在宅ケアセンター設立!!【2面】
 - 地域連携室 桜丘学習センター『これって物忘れ?認知症?』【2面】
 - PICK UP みなみやまと 栄養部 工藤部長 県知事賞受賞【2面】
 - PICK UP みなみやまと 老健 日経ヘルスケアに掲載【2面】
 - 医療安全推進委員会主催 研修報告 『護身術講習とクレーム対応について』【2面】
 - 南大和 桜連 (第7回 渋谷よさこい)
 - ご声援ありがとうございました!【2面】
 - PICK UP みなみやまと 再び優しい 生姜入り豆乳スープ【3面】
 - リレーエッセイ (53)【3面】
 - 新入職員のご紹介【3面】
 - 地域のお医者様 Docia's 須藤整形外科クリニック 須藤 英文 先生【4面】
- 問い合わせ：046(269)2411
ご予約：046(269)5000

た対応が可能な医療体制を作り上げました。これまでも慢性腎臓病治療は南大和グループの中核をなす部門ですが、同じ新都市医療研究会「君津会」の千葉県君津市にある玄々堂君津病院と密に連携し腎臓移植も可能な体制を整えました。

次に眼科・耳鼻咽喉科の1号館移転です。眼科・耳鼻咽喉科は南大和クリニックで外来診療を行っていました。患者様の併診時の便利さを考慮し、1号館の入り口付近に移転しました。眼科・耳鼻咽喉科とも白内障・アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎など幅広い疾患に対応し、外来手術・入院手術を行っています。

また新外来リハビリ棟（3号館）を建設し、リハビリ病棟・外来からのアクセスを改善しました。

さらには総合在宅ケアセンターを設立し、これまで別々に機能していた訪問診療、訪問看護、訪問栄養指導、訪問リハビリなどを統一した組織としてまとめ、それぞれの患者様に最適な在宅サービスを提供できるようにしました。

もちろん南大和グループが得意とする分野の内視鏡センター、手術センター、乳房再建センター、



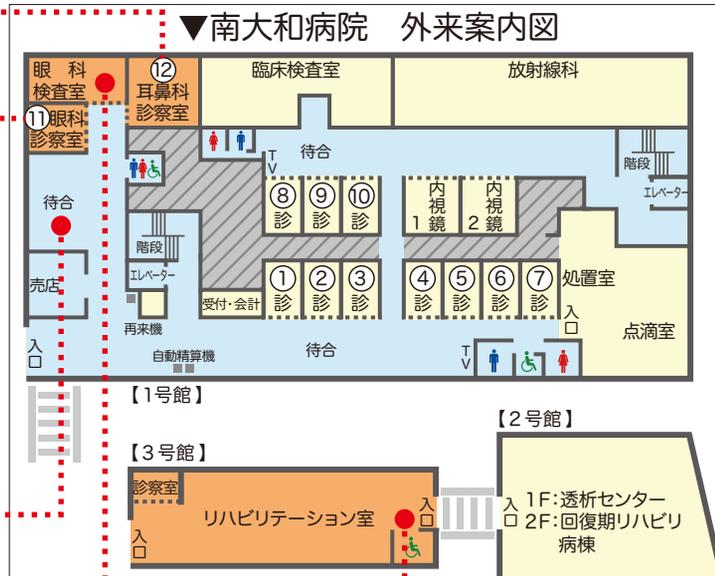
南大和病院長 藤井 真

ロボットリハビリセンターに関してもスタッフおよび設備のさらなる充実を図っています。皆様安心して治療を受けていただけるように、より専門的かつ高度な医療が提供できる体制を整備し、日々最新の情報を取り入れ進化させています。

また昨年駐車場の面積の拡大を行いました。それに伴い歩行者と車の導線の可能な範囲での分離を検討しています。入院中に体調が良ければ日向ぼっこができる病院、くつろいだ雰囲気でも外来受診ができる病院、青空のもと安心してリハビリの歩行訓練が行える病院、そんなイメージを目指しています。

今年も皆様のご意見を取り入れながら、よりよい南大和病院にすべく職員一同努力してまいりますのでよろしくご願ひ申し上げます。

平成29年1月1日
南大和病院長 藤井 真



南大和病院 外来診療科移転のお知らせ

昨年10月の新3号館竣工に伴い、外来診療科の一部が左記の通り移転となっております。患者様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解・ご協力を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

- リハビリテーション科
- 病院1号館から3号館へ移転
- 眼科・耳鼻咽喉科
- 南大和クリニックから
- 病院1号館へ移転

恒例となりました院長特別講演が去る12月13日に大和市渋谷学習センター多目的ホールにて開催されました。師走の忙しい時期にも関わらず、150名入るホールは開演30分前には空席を探すのに苦労する程の盛況ぶりです、今回の講演の期待値の高さを感じました。

講演は3部構成で進められ、第一部「南大和グループの目指すもの」ではグループの理念から始まり、昨年の取り組みの数々、そしてこれからのグループ目標等が紹介されました。

第二部「溢れる医療情報の中で」では、週刊誌等で取り上げられる医療情報を鵜呑みにしていいのか?と疑問を投げかけ、活発に質疑応答が飛び交いました。

第三部「気になるこんな症状…」では「頭痛」「血便」「腰痛」といった3つの症状を取り上げ、緊急性の有無の見分け方を分かり易く説明頂き、こちらも質疑応答は大いに盛り上がりました。

講演後のアンケートは好評で、「どんな質問もすっかり耳を傾け優しく答える病院長の姿に感銘をうけました」との感想も頂きました。

南大和病院では、今後も地域の皆様と共に健康について考える場として市民講座を開催していきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。(文：地域連携室 金子由紀子)

病院長特別講演 「地域と共に」

来年も

部 署 紹 介 総 合 在 宅 ケ ア セ ン タ ー 設 立 !!

総合在宅ケアセンターの説明の前に、地域包括ケアシステムについて簡単に説明させていただきます。地域包括ケアシステムというのは、2025年をめどに国がすすめていた政策で、高齢者の方々が住み慣れた地域でその方らしい暮らしを、可能な限り最後まで続けることができるように、包括的な支援・サービス提供体制を、その地域で構築しようというものです。

体制を整えるために総合在宅ケアセンターを立ち上げました。病いや怪我を抱えても、住み慣れた場所でも自分らしい生活を安心して続けるためには、地域における在宅医療・介護の連携が重要になってきます。在宅医療を行うのは訪問診療、訪問看護という事になります。緊急時にもスムーズに対応することができ、グループ内にはこの他に訪問リハビリ、訪問栄養指導といった訪問サービス、通所リハビリ(デイケア)、通所介護(デイサービス)といった通所サービス、老健へのショートステイといった入所サービスもあります。小さな地域包括ケアシステムと捉

えたいだけだと分かるとか、いろいろと分かっていくか、総合在宅ケアセンターでは、皆様の生活のトータルサポートを積極的に推進していきたいと考えております。皆様のお困りごとはどんなことなのか、私たちにどんなお手伝いができるのかを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。総合在宅ケアセンター相談窓口
お問合せ先 046(269)2411
担当 柏田 深澤・永山



地域連携より 『これって物忘れ？認知症？』

当院地域連携室では定例の市民講座を企画する他に、地域の方からの要望を受け講座を開催するなど、地域に向け医療の場から伝えられることを発信しております。先日は大和市桜丘学習センターでの健康講座開催時へコーディネーターの健康講座開催時、市民の方と共に良い講座を開催でき貴重な経験をさせていただきましてお伝えします。

相談をもちかけてくれたのが始まりでした。講師について、プログラムについて、何を知らたいのか、どこまで知っているのかなど打ち解けるまで話し合いました。そして医療従事者として二人の間としてどんな講座が良いか考えるうちに、認知症のありのままの姿を共有する機会にできたら素晴らしいなという思いに至りました。講師については、実際さういう話をしてくださる方は希少と知っていました。探したところ幸い素晴らしい方が現れお話しできました。具体的には17日は在宅療養の現場で認知症や看取りの場

に多く立ち会った看護師の方と、今後地域の方と医療を通じて人間の生命が尊厳を更にするよう、努めてまいりたいと考えております。ありがとうございます。 (文：地域連携室 杉本)

実際に母様が認知症で家で共に生活されている元看護師の方に話をお願いし、24日は当院の管理栄養士・理学療法士から最新の認知症予防について話させていただきました。特に17日の講演は大変感動的で、きっと参加された方の心の中にある優しいお気持ちに触れたのではないのでしょうか。

福祉機器の性能は日々向上し、介護職の負担軽減が期待される中、運用を間違えると逆効果にもなりかねないということを心に留めて慎重に導入することが重要だと気づかされる記事でした。

「高齢者見守りセンサーの実力」という特集内で最新の見守り機器の紹介記事が並ぶ中、当施設ではセンサーを取り付ける対象者を絞り込むことで業務改善を実現した点が独自の取り組みとして取り上げられていました。

「日経ヘルスケア」2016年11月号に南大和老人保健施設の取り組みが紹介されました。これは昨年9月に大阪で行われた老健大会で当施設職員の高山昌子さんが発表した論文が記者の目に止まり、掲載に至ったものです。

昨年11月の話になりますが、当グループの医療安全推進委員会主催で全職員を対象に医療安全研修が行われました。この研修は「護身術講習とクレーム対応について」というテーマで3部構成で行われました。

PICK UP みなみやま

医療安全推進委員会主催 研修報告 『護身術講習とクレーム対応について』

交えつつ学びました。講習の最後に職員も2人1組になって護身術を練習したのですが、頭で理解しているようでも実際に動かし、なかなか思うように体が動かず、非常に備えてこうして訓練をしておくことの重要性を実感しました。



不安が残る中迎えた本番当日、始まるまでは不安な表情だったメンバーも、皆様から多くの声援を頂いたおかげで演舞を楽しむことができました。演舞が終わった後もすれ違う方々に多くのお褒めの言葉を頂き、とても嬉しく思いました。感謝致します。



栄養部より季節のレシピ

胃にやさしい 生姜入り 豆乳スープ

お正月で食べ過ぎてはいませんか？今回は食べ過ぎて疲れた胃に負担がかからない簡単なスープをご紹介します。

- 材料 (2人分)
《スープ》
●豆乳 200 cc
●水 200 cc
●生姜 2g
●コンソメ 6g
●塩 0.4g
●長ネギの青い部分・生姜 1片 (肉の臭み取り用)



- 《具材》
●肉団子 →鶏ひき肉(もも) 80g
→ネギ 20g
→生姜 2g
●ブロッコリー 60g (1/4房)
●人参 60g (1/2本)
●カボチャ 60g (1/6玉)
●生姜(針生姜) 1g

▼一人あたりの栄養価

エネルギー	たんぱく質	脂質
177kcal	14.0g	7.1g
炭水化物	食物繊維	塩分
14.3g	3.5g	1.6g

- 作り方
① それぞれの野菜をよく洗い、ブロッコリーは1口大の小房に切る。人参は約5センチの長さに切り、面取りをして形を整える。カボチャは薄くスライスし、くし型切りにする。生姜はすりおろしと針生姜用に千切りにする。ネギはみじん切りにする。
② ①で切った野菜(ブロッコリー・人参・カボチャ)をお皿に並べて大きじ1杯の水を入れレンジで5分加熱する。
③ 肉団子を作る →鶏ひき肉の中に、ネギ・塩・生姜を加えてよく捏ねる。粘りが出たら、等分に分け団子状に丸める。
④ 鍋に水を入れ沸騰したら、臭み取り用の長ネギと生姜1片を入れ、③で作った肉団子を加えて約5分間加熱した後、コンソメ・塩を入れ味を整える。その後、長ネギと生姜を取り出し、火を消す。
⑤ ④にすりおろした生姜と豆乳を加えて、器に盛る。
⑥ ①で加熱した野菜を盛り付けしたらできあがり。

- 1. 胃にやさしい野菜と豆乳
今回の野菜は消化の良いカボチャや人参を使いました。また豆乳は胃液の酸性度を抑えるので、胃の保護に役立ちます。さらに豆乳には大豆オリゴ糖という成分が含まれており、腸内細菌のエサとなります。そのため腸内細菌が活性化し、おなかの調子を整える作用があります。
- 2. 体を温めてくれる生姜
生姜には辛味成分のジンゲロールが含まれ、胃の内容物の消化を促進します。ジンゲロールは加熱するとショウガオールに変わり、代謝を高めて身体を温めます。この寒い冬にはとてもありがたい食材です。

★ポイント★
★電子レンジで時短！
硬い人参やカボチャなどはどうしても時間がかかりがち。でも電子レンジならあつという間に加熱され柔らかくなり、簡単に調理ができます。また色鮮やかに仕上がるため見た目にも良いですね。
★豆乳を入れる時は火を消し、沸騰させない！
豆乳は加熱しすぎるとたんぱく質の塊が出るので、最後に加えましょう！



新入職員のご紹介

2016年9月1日から11月30日までの新入職員です。

すぎもと のみ 看護師 ① 静岡県 ② コストコ ③ のんびり	ささき りえこ 佐々木 利恵子 看護師 ① 神奈川県 ② 猫の動画を観て癒されています ③ のんびり	いけだ りえこ 池田 里江子 看護師 ① 長野県 ② 読書 ③ マイペース	いとう しえいら 伊藤 シェイラ 看護師 ① 福岡県 ② なし ③ 明るいけどちょっと適当	すぎやま ゆり 杉山 友梨 薬剤師 ① 神奈川県 ② 携帯ゲーム ③ 明るい	とよかわ あさき 豊川 千愛 薬剤師 ① 神奈川県 ② 映画鑑賞 ③ マイペース
---	---	--	--	---	---

のがみ えつこ 野上 悦子 OMA ① 神奈川県 ② 高校野球 ③ マイペース	なかおか れいこ 中岡 玲子 OMA ① 東京都 ② 登山 ③ 考えるより行動するタイプ、クヨクヨしない	あきもと るい 秋元 瑠依 事務 ① 神奈川県 ② 紅茶の茶葉 ③ マイペース	えんどう とみこ 遠藤 智美 事務 ① 神奈川県 ② ラブライブ!(アニメ全般)ラブライブです♡ ③ 何でも楽しくやる性格?	とみやま かなこ 富山 佳奈子 事務 ① 神奈川県 ② 子どもと遊ぶこと ③ マイペース	あくつ みわこ 阿久津 美和子 事務 ① 栃木県 ② 食べ歩き ③ おだやか
--	---	--	---	---	---

MINAMIYAMATO お届けする健康情報番組

2016年11月よりリニューアル!
放送時間も変わりました!

毎週火曜日 07:15~
再放送: 毎週金曜日 17:40~

ラジオの聴き方
FM77.7MHz にチャンネルを合わせましょう
スマートフォン・パソコンでもラジオが聴けます
詳しくはFMやまとのHPへ!

▲2016年11月3日にオープンした大和市文化想像拠点『シリウス』。こちらの1階部分にFMやまとの新スタジオがあります。

▲オープン記念の生放送番組に藤井病院長も出演いたしました!

地域のお医者様
Doctors
医療法人社団 暉英会
須藤 整形外科
クリニック
須藤 英文先生



地域連携室より近隣のお医者様を紹介するコーナー「ドクターズ」。
今回は高座渋谷駅西口から徒歩7分の位置にあります。
須藤整形外科クリニックの須藤英文院長先生を紹介いたします。

須藤整形外科クリニックは住宅街に建つ広い駐車場とリハビリ室を有するクリニックです。クリニックの中に入ると患者様に和んでもらえるようにと絵画が飾られ、掲示物も整理した配置で貼られ、全体がきちんとした統一感でまとめられている印象のクリニックです。

須藤先生は開業前はドクターヘリを装備していた三次救急病院の整形外科部長として活躍され、これまでに千例近い脊椎の手術を行ってこられました。保存療法、手術のタイミングなど



アドバイスができる先生は、「もつと患者一人ひとりに寄り添った治療がしたい」との思いで開業されたそうです。

クリニックの特徴

一般整形外科に加えて、今までの経験を活かし脊椎・脊髄疾患の専門的治療を行っているクリニックです。

「理学療法士が7名いるため、単なる物理療法だけでなく、運動器リハビリを施行しています。クリニックではありますが、レントゲン技師によるレントゲン撮影を行っており、正確なレントゲン撮影ができます。放射線による透視ができるので、透視

下の骨折や脱臼の整復操作、神経根ブロックなども施行しています。自分がもともと脊椎外科医で手術まで施行していたので、特に脊椎疾患に対しては手術を視野に入れた加療を心がけています」とお話されるようにクリニックには大きなリハビリ室があり、いつ伺ってもたくさんの患者様がリハビリを受けています。そして理学療法士の方たちも、いつ休憩時間を取っていらつしやるのかと思うくらい診療時間に関係なくリハビリを行っている姿に驚かされます。



また、理学療法士の皆さんも患者様一人ひとりにしっかりと話をされ、リラクゼーションされた雰囲気でもリハビリを受けられています。中には小さなお子さんやおばあちゃんについてきて楽しんで遊ぶ姿も見られ、ホッとする印象でした。

**オーダーメイドインソール
がつくれるクリニック**

足の機能障害はインソール（靴の中敷き）でかなりの部分が対処できると考え、患者様の歩き方や足の状態をしっかりと確認した上で最適な形のインソールを作成し、さらに装着して再度患者様の歩行状態をチェックして微調整をしているそうです。「スポーツをしている人はもちろん、足や膝の痛みを軽減したい人、外反母趾の患者様にもお奨めです」と朗報が聞けました。

**患者様に対して
大切にしていること**

「なるべく丁寧に丁寧で上質な医療を提供する事をモットーとしており、医師・看護師・理学療法士・リハビリ助手・医事課がチームとして患者様に接し、患者様の状態、それが体のことであつたり心のことであつたり、少しでも良い方向へ向くように努力しています」と、患者様が言いたいことが言える環境を作りたいと話される先生の笑顔は魅力的でした。

また「検査に関しては大きな病院に依頼しなければならぬ事が多々ありますが、医療レベルや医療の質において公的な病院や大病院規模の外来レベルと遜色ないレベルを提供したいと考えています」と話されるように、普段の生活指導から患者様特有の歩き方改善指導、手術に行く前の段階の診療に力を入れ、放射線技師、理学療法士と人材をそろえ充実した医療を提供していらつしやいます。



連携への要望

「クリニックでの医療には限界があり、入院加療が必要な患者様は大勢いるので、必要に応じて紹介あるいは逆紹介して役割分担できるような連携が望ましいと思つています」とのことです。南大和病院としては整形外科だけでなくリウマチ科など必要とされる医療がスムーズに提供できるように地域連携室が間に合いました。

(文：地域連携室 金子 俊子)



須藤整形外科クリニック

住所：〒242-0024 神奈川県大和市福田 2158-9

電話：046(201)0822

診療時間：

	月	火	水	木	金	土	日	祝日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	○	-
15:00~19:00	○	○	○	○	○	-	-	-

○土曜日9時~13時 ○第2・4木曜日 休診

休診日：日曜、祝日、土曜日午後、第2・4木曜日

駐車場：医院前に22台分有

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も広報誌「MINAMIYAMATO PRESS」をよろしくお願ひいたします。中根・新年の初仕事。委員の皆様お疲れ様でした。自分何もしないでいいぞ。増淵

あけましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひいたします。長田

今年もよろしくお願ひ致します。原田

出かける時はマスクをして出掛けましょう。高橋

ケガをし易い時期になりました。毎日ストレッチをしよう！飯島

私事ですが、1月より産休に入ります。元気な子を産んで戻ってきます！金子(由)



南大和グループ広報誌 MINAMIYAMATO PRESS 57号 (2017年新春号)
発行 者：南大和病院
発行責任者：南大和病院長 藤井真
編集責任者：広報委員長 中根孝司
住所：〒242-0015 神奈川県大和市下和田 1331-2
電話：046(269)2411 (代表)

南大和グループ
南大和病院
南大和クリニック
南大和高座クリニック
南大和老人保健施設
南大和訪問看護ステーション
南大和デイサービスセンター